

第44回四国女子柔道選手権大会(兼第41回皇后杯全日本女子柔道選手権大会四国地区予選)高知県予選 実施要項

1. 期 日 令和8年2月1日(日) 午前9時 開始
2. 会 場 高知県立武道館 高知市丸の内1丁目8-3 088-825-1271
3. 主 催 高知県柔道協会
4. 後 援 高知新聞社・RKC高知放送
5. 出場資格
 - (1)令和7年度 全日本柔道連盟に登録手続きを行っている者。
 - (2)日本国籍を有し、本大会当日(令和8年4月)に中学2年生以上であり、高知県内に居住、勤務、在学のいずれかの条件を満たしている事。
 - (3)6ヶ月以上県内在住の者で、本協会加盟団体の構成員として登録された者。
 - (4)卒業、転勤などにより、実態の伴う現住所の変更、勤務する会社、通学する学校の所在地に変更がある場合には、変更先の地区(高知県)から出場することができる。ただし、この場合は、速やかに登録変更の手続きを行わなければならない。
6. 試合方法 体重無差別の個人戦
申し込み者数によりトーナメント・リーグのいずれかの方式で行う。
7. 審判規程 国際柔道連盟試合審判規定
第41回皇后盃全日本女子柔道選手権大会要項に準ずる。
 - (1) 試合時間は5分間とする。
 - (2) スコアは「一本」「技あり」「有効」の3種類とし、「技あり」2つで合せ技「一本」とする。
抑え込みの時間は20秒間で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」とする。
 - (3) 「指導」による罰則は、4回目が与えられた時点で「反則負け」とする。
 - (4) 試合時間内に勝敗が決しない場合は、判定にて勝敗を決する。その基準は試合態度、技の効果と巧拙、及び反則の有無等を総合的に比較する。攻撃を高く評価するため「指導」の数のみを持って判定の材料とはしない。
 - (5) 両試合者が「累積による同時反則負け」を受けた場合、判定にて勝敗を決する。
 - (6) 立ち姿勢において、相手と組んだ状態で攻撃・防御のために、相手の帯から下を掴む(触れる)ことは反則(指導)とはしない。但し、相手と組んでいない状況で直接相手の帯から下へ攻撃を行うことは反則(指導)とする。
 - (7) 寝姿勢から立姿勢に移行したときには、「待て」を宣告して試合を止める。
 - (8) 試合は、試合場内で行うものとする。立姿勢においては、両足が場外に出るか相手を故意に場外に押し出した場合は反則(指導)とする。
 - (9) 立姿勢において、標準的ではない組み方を継続する若しくは繰り返す場合は反則(指導)とする。但し、直ちに攻撃を行えば「指導」は与えない。
8. 柔道衣
2022年1月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。全日本柔道連盟柔道衣規格に適合した柔道衣(上衣・下穿・帯)を着用すること。

9. ゼッケン

ゼッケンの無い選手は失格とする。（ゼッケンの重ね縫いは禁止する）

10. 申し込み 1月16日(金) 必着

別添の申込書により、監督又は責任者が押印のうえ、郵送により申し込むこと。

（エクセルによるメール送信も合わせてお願いします。）

申 込 先

(1) 原本

〒781-8010 高知市棧橋通2丁目11番6号

高知工業高等学校 山地 卓 宛

TEL 088-831-9171

(2) データ

高知東工業高等学校 三浦 洸平 宛

Email kohei1311@g.kochinet.ed.jp

11. 参加費 1000 円 / 1人 当日試合場にて試合開始前に納めること

12. その他

(1) 四国女子柔道選手権大会高知県予選の優勝者・準優勝者は全日本女子柔道選手権大会四国地区予選に出場する。

(2) 全日本女子柔道選手権大会四国地区予選は、3月8日(日)に高知県立武道館にて開催されます。

(3) 大会終了後に理事会を開催しますので、理事の先生方は出席をお願いします。